

まえがき

本書は1996年度に実施されたアジア経済研究所「域内構造展望—東アジア」研究プロジェクトの成果の一部である。

今回は本研究プロジェクトの2年目になる。前回と同様に、国内で研究会を開くと同時に、海外との共同研究も行った。その成果はIDE SIE Reportとして、No.6—王建編『中国的産業・地区発展与外資的作用』、およびNo.7—常清編『中国的資本市場和外資雇用問題』の2冊がいずれも1997年3月に出版されている。これらの報告書の執筆と現地調査に協力していただいた中国各地の各機関・企業の皆さんに対し、この場を借りてお礼を申し上げたい。

本書の刊行に至るまでには、多くの方々の支援を仰いでいる。本プロジェクトの立ち上げ段階から現在に至るまで、川口融理事の叱咤激励には大いに鼓舞された。研究会の開催時には、李国梁、山本賢一、萩原彰、下村暢子、堀井伸浩の各氏に協力していただいた。編集にあたっては経済開発分析プロジェクト・チームの丸川知雄、編集1課の松原浩司、アジア経済出版会の齋藤輝夫の各氏から貴重なコメントとバックアップを得ている。

編者が関西の地に在住していることもあって、事務面で少なからぬ不便をおかけした。地域研究部の佐藤宏前部長、三平則夫現部長、原不二夫主任調査研究員、作本久美子主任にはたいへんお世話になった。

最後に、海外派遣をひかえた多忙時に膨大な残務を処理してくれた大原盛樹、その後を引き継いで刊行にこぎつけてくれた今井健一の両幹事の労を多としたい。

1998年啓蟄

編者